

2015.1.27

マレック・シュパキエヴィッチ チェロ・リサイタル

《開催概要》

ヨーヨー・マ氏やボビー・マクファーリン氏から賞賛される、稀代のチェロ奏者マレック・シュパキエヴィッチが初来日リサイタルを開催いたします。

マレック・シュパキエヴィッチはポーランド出身。現在はロサンゼルス在住で、ヨーロッパ各国とアメリカでソリストとして活躍。これまでにアン・アキコ・マイヤース、リン・ハレルなどの名高い音楽家と共演するほか、オーケストラ編曲の分野でも才能を発揮し、映画音楽作曲家ヤン・A・P カチュマレク氏と共同で手掛けた映画音楽『ネバーランド』が2005年第77回アカデミー作曲賞を受賞、またカリフォルニアのアズサ・パシフィック大学音楽学部で教鞭をとり、室内楽のディレクターを務めるなど、多岐にわたって活動しています。

初来日となるこの度のリサイタルは、彼自身が日本の方に届けたいという、「人生の一部」と呼ぶほどの思い入れのあるラインアップでプログラムを構成。同郷人として誇り、憧れ、そして最も親密な気持ちをもったショパン「チェロ・ソナタ」や、共産圏時代のポーランドでの体験から作品の根底に流れるメッセージを汲み取ったショスタコーヴィチ「チェロ・ソナタ」など、シュパキエヴィッチならではのバックグラウンドと信念に基づいた熱演が披露されることでしょう。

また本公演の収益金の一部は、福島県相馬市でエル・システマジャパンが運営する「相馬子どもオーケストラ」へ寄付されます。シュパキエヴィッチは東日本大震災後から積極的に震災支援に取り組み、昨年11月には「相馬子どもオーケストラ」へ自ら足を運び、演奏指導・子どもたちとの交流を通じて「顔の見える支援」も行いました。

さらにこの度のリサイタルでは、弦楽器製作者 中澤宗幸氏が、奇跡の一本松や被災地で生まれ育った木材で製作、ヨーヨー・マ氏が日本で初演奏した TSUNAMI チェロを一部で演奏いたします。

シュパキエヴィッチによる渾身のリサイタルにご注目ください。

名 称	マレック・シュパキエヴィッチ チェロ・リサイタル
日 時	2015年3月27日(金) 19:00 開演 / 18:30 開場
会 場	王子ホール
後 援	駐日ポーランド共和国大使館、ポーランド広報文化センター、エル・システマジャパン、 Classic for Japan
制 作	株式会社 1002

本公演についてのお問い合わせ

〒102-0083

東京都千代田区麹町 1-3-7 日月館麹町ビル 3 階

株式会社 1002 [イチマルマルニ]

Tel. 03-3264-0244 / Fax. 03-3264-1788

公演担当= 原 肖奈 [ハラ ニナ] nina@1002.co.jp

《公演概要》

プログラム

ドヴォルザーク(シュパキエヴィッチ編)／スラヴ舞曲 ホ短調 Op.72-2

ショパン／チェロ・ソナタ ト短調 Op.65

ショスタコーヴィチ／チェロ・ソナタ ニ短調 Op.40

ピアソラ／ル・グラン・タンゴ

出演者

マレック・シュパキエヴィッチ Marek Szpakiewicz 【チェロ】

ポーランド生まれロサンゼルス在住のチェロ奏者マレック・シュパキエヴィッチは、ヨーヨー・マ氏から「エネルギー、モチベーション、真摯さ、そして寛容な心を持っていることが自明なアーティスト」と評され、ピューリッツァー賞を受賞した作曲家ジョン・コリリアーノ氏から「シュパキエヴィッチ氏が演奏した私の作品『バッハのアリアによるファンシー (Fancy on a Bach Air)』は、素晴らしく華麗である」と、高い評価を得ている。

ポーランドのルブリン市にて 6 歳からチェロを始める。渡米し、ジョンズ・ホプキンス大学ピーボディ音楽院でステイーヴン・ケイツ氏に師事。その後、南カリフォルニア大学ソロートン音楽学校でエレノア・ショーンフェルド女史に学び、音楽修士号と音楽芸術博士号を取得。ダニール・シャフラン、リン・ハレルの各氏ら著名なチェリストのレッスンを受講する。

数々の国際コンクールで優勝、入賞し、ヨーロッパ各国とアメリカでソリストとして活躍。「天賦の才能ある演奏家」、「壮大なビジョンと計り知れない説得力を持つ」、「際限のない技術性」などと賞賛された。ポーランドとアメリカのラジオ局では生演奏が放送される他、非営利クラシック音楽放送局として全米一の規模を誇る KUSC 局では、1 時間の特別番組が制作された。イギリスの弦楽器雑誌『Strad』では、『ブロッホ：ヘブライ狂詩曲「シェロモ」』のライブ録音に対して、「スコアを著しく正確に実現化したもの」と好評を受けた。

これまでアン・アキコ・マイヤース、スミ・ジョー、リン・ハレル、岩崎洗などの名高い音楽家と共演している。また、グラミー賞を多数受賞したジャズ歌手のボビー・マクファーリンの歌と『ヴィヴァルディ：2 つのチェロのための協奏曲』で共演し、マクファーリン氏には「彼の演奏技術は超絶そのもの、彼の音楽に対する真剣さ、誠実さとカリスマ的な性格によって生まれた素晴らしいパフォーマンスは、世界の人々に心の豊さを味わう機会を与えた。」と絶賛された。

そのほか、オーケストラ編曲の分野でも活躍し、映画音楽作曲家ヤン・A・P カチュマレク氏の作品に携わる。共同で手掛けた映画音楽『ネバーランド』は 2005 年第 77 回アカデミー作曲賞を受賞。同氏の映画音楽では、リチャード・ギア主演『HACHIー約束の犬』(09 年夏公開)や松井久子監督の『レオニー』(10 年秋公開)などで、印象的なソロを聴かせた。

08 年アメリカ政府から「特殊で卓越能力をもつアーティスト」として永住権を授与された。アメリカ国内はもとより国際的称賛が継続し、これまでの業績が認められたためである。

11 年には東日本大震災チャリティーコンサートを企画し、在ロサンゼルス日本国領事館の後援を受けて開催。ロサンゼルス郡参事のゼブ・ヤロスラヴスキー氏とマイケル・アントノヴィッチ氏より、その献身的活動に対して表彰を受けた。

現在、カリフォルニアのアズサ・パシフィック大学音楽学部で教鞭をとり、室内楽のディレクターを務める。

使用楽器は 1870 年製ヴィオーム。

ジアイ・シー Jiayi Shi 【ピアノ】

上海出身。上海音楽院の予備学校を経て渡米。イーストマン音楽学校で音楽修士号及びピアノ・ソロの演奏家資格を取得、さらにニューヨークのマンハッタン音楽学校の音楽芸術博士号を取得。現在、室内楽奏者、器楽伴奏者として活躍している。

モーストリー・モーツァルト音楽祭にて、ヴァイオリニストの五嶋みどり氏と共演しニューヨーク・デビューを果たす。以来、サンフランシスコのデイヴィス・シンフォニーホール、ロンドンのセント・ルークス・ホールなど世界的にも著名なホールで室内楽演奏会に出演。また、ロサンゼルス・フィルハーモニック コンサートマスターのマーティン・チャリフォー、ソリストの五嶋龍及びバイエルン放送交響楽団の首席奏者コルビニアン・アルテンベルガーの各氏と定期的に共演している。

最近では、ワシントン DC のケネディ・センターでのリサイタル、KBS(韓国)テレビ番組「Classical Odyssey」にて五嶋みどり氏と共演、ミュンヘン、レーゲンスブルク(ドイツ)、名古屋でのリサイタル・ツアー、トロント(カナダ)でのラジオ出演、また、五嶋みどり氏との現代音楽の録音プロジェクトや、ヴァイオリニスト スーリー・シュエとの中国民族音楽のコラボレーションなど、多岐にわたった活動に才能を発揮し、情熱を注いでいる。

これまで南カリフォルニアのバイオラ大学及びシエラ大学の教師を務めるほか、アメリカの都市部から離れた地域にクラシック音楽を広めるための財団「Partners in Performances」の関連マスタークラスを開いたり、また韓国や中国でも授業を行うなど後進の指導にも精力的にあたっている。

料 金

¥4,500 (全席指定・消費税込)

プレイガイド

王子ホールチケットセンター 03-3567-9990

チケットぴあ[Pコード:247-125] 0570-02-9999 <http://pia.jp/t/>

お問い合わせ

株式会社 1002[イチマルマルニ] 03-3264-0244 <http://www.1002.co.jp/>

※都合により、出演者・プログラム・曲順が変更になる場合がございます。

※未就学児のご入場はご遠慮下さい。